

事業報告書

令和元年度

社会福祉法人 柏寿会
福光園グループホーム

やすらぎの家

事業所番号 0370900441

〒 021-0901
一関市真柴字爪木立43-96
TEL/FAX 23-5435

1. 沿 革

平成14年6月1日レストラン兼宿泊施設を改修し、利用定員9名・常勤職員5名パート職員1名・宿直員3名の体制で事業を開始して依頼、現在は職員7名の常勤で、夜勤の勤務体制を構築。地域交流スペースは現在もそのまま使用しており、近隣の方のバス待ちの避暑地や暖を取りながらの団らんの場として活用し、本年5月末で17年になり、地域との交流が定着しています。

2. 事業の目的

認知症によって自立した生活が自宅で困難になった利用者様に対して、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで食事・入浴・排泄等の日常の世話および生活の中で心身の機能訓練を行うことにより、安心、満足、尊厳のある生活を、利用者様がその有する能力に応じ可能な限り自立して営む事が出来るよう支援することを目的としています。

3. 本年度の事業実施内容

福光園の理念を柱とした事業所独自の理念を創り、利用者様にとって安心して暮らしていける環境と関係づくりを目標に、日常の生活や地域の人との交流、自然とのふれあいの中で、自分のひめていた欲求や願いに、自から行動を起こす意識への働きかけが、生活する喜びと満足につながる取り組みを行いました。

1) 生活の支援向上

年々、「出来る事」が出来なくなる過程を目のあたりにした1年でした。都度のモニタリングを実施し、可能な限り出来る事は自分で行って頂き、日常生活を忘れない支援をしている。

2) 入浴サービス

入浴における気分転換・保清を実施し、乾皮症・水虫の早期発見～治療に繋げる支援が来ています。また皮膚疾患に関しては往診で診て頂き早期に治療を行っている

3) 食事サービス

配膳時の献立の説明を行い「知って食べる」過程を作っています。献立に於いても、野菜をふんだんに使い栄養のバランスにも配慮を行っています。また排便を促す為麦ご飯、牛乳・バナナなど提供しています。

4) 地域交流

毎年の事ながら人員の関係で、外部との接触の機会が増えない現状です。しかし、施設の行事に関しましては、施設の都合ではなく参加されるご家族様の都合に配慮した日程を組む事により、前年度より多くのご家族に協力して頂いています。

やすらぎの家

5)健康管理

異常の早期発見を基本に、悪化の防止に努めています。

6)環境整備

年間計画に位置付けて実施したことにより、清潔な環境は維持できています。

7)職員の資質向上

今年度は会議の時に内部研修をし勉強会の開催をし職員の資質向上に努めています。

8)資格の習得

今年度は資格取得者なし。

9)マニュアルの整備

人から人への伝達に合わせ、マニュアルを整備することによりサービスの標準化ができています。

4.まとめ

- ・令和元年度に於いての充足率は95パーセントとなっております。入退院を繰り返し空床の期間が長くなってしまっている。
- ・今年度は人材不足により外部の研修に参加する事はできませんでした。
- ・職員が連携し互いに刺激しあい、よりよい介護の形を築いていければと思います。
- ・職員の出入りが多く、落ち着かない状況下での介護、人材不足に悩まされる一年でした
- ・年齢を重ねることによるADLの低下・認知度の低下がみられる状況に於いて、その場面場面に即した介護の提供が望まれます。

行事報告

年 月 日		行 事 内 容
平成	31 年 4 月 13 日	お花見外食ドライブ(入居者全員・4家族様参加)
平成	31 年 4 月 15 日	誕生会
令和	元 年 5 月 30 日	市野々保育園児との交流会
令和	元 年 6 月 日	外食ドライブ
令和	元 年 6 月 日	外食ドライブ
令和	元 年 6 月 日	外食ドライブ
令和	元 年 7 月 20 日	やすらぎの家 納涼会
令和	元 年 7 月 日	アンサンブル玲慰問
令和	元 年 8 月 日	外食と買い物ドライブ職員1名同行
令和	元 年 8 月 日	外食ドライブ
令和	元 年 8 月 日	外食ドライブ
令和	元 年 8 月 日	関生園夕涼み会(ご祝儀のみ)
令和	元 年 8 月 日	真柴三社連子供神輿(ご祝儀)
令和	元 年 9 月 日	希望外食ドライブ
令和	元 年 9 月 28 日	やすらぎの家敬老を祝う会
令和	元 年 9 月 日	誕生日外食ドライブ
令和	元 年 10 月 日	関生園まつり(ご祝儀のみ)
令和	元 年 12 月 日	誕生会
令和	2 年 1 月 日	誕生会
令和	2 年 2 月 日	誕生会
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

利用者	性別	年齢	要介護度		入居日	通院	薬貰い	理容	外出	帰省	面会	備考
			旧	更新								
KI	W	86	2	4	S8・8・24	25	15	3	17	0	35	
SY	W	84	3	3	H23・1・10	20	17	4	7	0	20	
SK	M	83	1	2	H19・1・9	17	14	4	12	0	10	
SA	W	92	支2	1	H28・8・2	20	13	4	11	0	20	
NS	W	84	4	4	H25・3・19	23	22	4	10	0	5	
NN	W	85	5	5	H25・7・19	16	16	4	11	0	16	
YK	W	96	3	4	T13・1・29	5	5	4	10	0	19	
MK	M	77	3	3	H27・2・11	22	18	4	13	0	12	
ST	M	93	4	4	H29・12・29	28	24	4	18	0	20	
平均		87.7		3.2		176	144	35	109	0	183	

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ※職員・家族様が対応した件数

月別利用者人数

	平成30年									平成31年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
延べ人数	270 (0)	279 (0)	239 (-31)	279 (0)	271 (-8)	255 (-15)	236 (-43)	264 (-6)	244 (-35)	272 (-7)	252 (-9)	279 (0)	96.00%

()は満所に対する減

H31年度 % (人)

職員研修報告

(外 部)

年 月 日	研 修 会 名 等	参加者等
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		
平成 年 月 日		

(内 部)

No	年 月	内容
1	31 4	・法人全体職員会議
1	5	・身体拘束廃止の第1回研修。グレーゾーン・不適切なケアのアンケート結果を踏まえ討論
	6	・介護のコツは褒める事
	7	・介護食とは・見た目も味も大満足、高齢者の健康サポート
	8	・身体拘束廃止第2回研修会。スピーチロックについて
	9	・レクリエーションの目的についてと高齢者の脱水症について
	10	・ハンドケア実践の研修
	10	・身体拘束廃止の第3回研修会。認知症で異食する原因と対応・対策
2	2	・身体拘束廃止の第4回研修会。一年を振り返り業務内でのスピーチロックを振り返る

ボランティア・実習・介護相談員受入

- 1) 生け花ボランティア 2回/月
- 2) 傾聴ボランティア 1回/月

1、罹患

1) 感染症

- ・4月入居者8名インフルエンザ罹患。職員2名も罹患。

2) 入院

2、事故報告

利用者様の事故

- 4月
 - ・ベッドより転落。床にマットを敷いていたが、身体はマット上で顔は床についていた。⇒外傷はなし。
 - ・他利用者の衣類の色が落ち、パジャマのズボンに色移り。×4件⇒4件の衣類に関しては弁償している。
 - ・廊下にてふらつきあり転倒。通院しレントゲン異常なし。
 - ・居室にてふらつき尻餅をついている
- 5月
 - ・薬をつぶす薬カッター内につぶしたままの薬が残っていた。(朝食時)
- 6月
 - ・朝にジアノックに浸しているパジャマ下・布パンツ2枚色落ちしていた。⇒色落ちした衣類については弁償している。
- 7月
 - ・脱衣所に錠剤1錠が落ちていた。服薬時飲み損ね衣類を脱いだ時に落ちたと思われる⇒確認薬必要
- 8月
 - ・朝の薬箱に服用されないままの錠剤が残っていた。(夜勤者薬セット時に発見)
- 9月
 - なし
- 10月
 - ・イクセロンパッチ(貼付薬)を異食
 - ・夜勤者薬セット時に細粒の袋が破けており、中身がこぼれ落ちている。
 - ・入浴時、長時間入浴し湯あたりし意識が一時的になくなっている。⇒後日ご家族宅に出向き謝罪している。
- 11月
 - ・左手親指付け根に内出血
 - ・左耳裏に傷
- 12月
 - なし
- 1月
 - なし
- 2月
 - ・入浴時に右脇腹背部6cm程の内出血。黄色く時間が経過している。
 - ・右膝内側内出血
 - ・昼食時入れ歯装着せず食事を摂っている。歯磨きの時にきづく。
 - ・右手第1指付け根と右手首に1cm程の内出血。
- 3月
 - なし

3、車両事故

- ・なし